

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月12日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 星医療酸器  
 コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長  
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 星 幸男  
 (氏名) 岡田 利夫

TEL 03-3899-2101

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,913	1.5	205	△30.1	212	△28.9	134	△26.9
21年3月期第1四半期	1,885	—	293	—	299	—	183	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	38.75	—
21年3月期第1四半期	51.95	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第1四半期	9,118	—	6,531	—	70.0	1,870.67
21年3月期	9,257	—	6,530	—	69.0	1,832.85

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 6,382百万円 21年3月期 6,385百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	4,000	0.5	600	1.2	610	0.6	370	0.8	106.20
通期	8,300	1.2	1,280	0.6	1,300	0.3	770	0.4	221.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	3,601,681株	21年3月期	3,601,681株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	189,750株	21年3月期	117,750株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	3,465,927株	21年3月期第1四半期	3,537,811株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、エネルギー・原材料価格の高騰に加えて、世界的金融危機等の影響を受け、全般的に企業収益は減少傾向にあります。輸出や設備投資も大幅に減少し、併せて雇用・所得環境も厳しさが増すなどの内外情勢を反映して、景気は先行き不透明感を払拭できずにあります。

当医療用ガス業界は、平成20年4月の診療報酬及び薬価の改訂の影響に加え、平成18年の薬事法改正に基づき平成21年6月には医薬品特例販売業が廃止されたことにより、卸売販売業としての体制整備を行ってまいりました。また、業界内での競合もさらに厳しく、低迷する経済環境の影響も重なって、より強固な企業体質の構築が重要な課題と言える経営環境下にあります。

このような環境のもと、当社は積極的な営業活動と、経営の効率化や合理化に努め、医療関連サービス分野の充実という社会的要請の高まりに応えるべく、グループ各社との効率的な連携を図りつつ、業績向上に向け注力してまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は1,913百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

一方損益面につきましては、厳しい市場環境のなか、取引基盤拡充に向けた営業努力を重ねて参りましたが、当第1四半期連結会計期間の経常利益は212百万円（前年同期比28.9%減）となり、四半期純利益は134百万円（前年同期比26.9%減）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(1) 医療用ガス関連事業

当関連事業は、引き続き医療分野において顧客基盤の拡充を図るべく、総合的な医療サービスの提供を基本に多岐にわたる顧客ニーズの対応に努めるとともに、グループ各社との効率的な連携と、業績向上に向け営業力の強化に努めてまいりましたが、売上高は1,849百万円（前年同期比0.7%増）となり、営業利益は200百万円（前年同期比33.1%減）となりました。

(2) 有料老人ホーム関連事業

当関連事業は、当社の子会社である㈱星コーポレーションが東京都杉並区に介護付有料老人ホーム（施設名：ライフステージ阿佐ヶ谷）を運営しております。入居者への充実したサービスの提供施設入居案内等の宣伝活動を継続した結果、周辺地域への認知度も上がり、入居者の増加及び施設の稼働率が向上した結果、売上高は63百万円（前年同期比29.0%増）となり、営業利益は4百万円（前年同期営業損失7百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期末の総資産は9,118百万円（前連結会計年度末比139百万円減）となりました。これは主に、流動資産のうち、受取手形及び売掛金が149百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は2,587百万円（前連結会計年度末139百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等が184百万円減少したこと及び賞与引当金が48百万円増加したこと等によるものです。

純資産は6,531百万円（前連結会計年度末比0百万円増）となりました。これは主に、配当金の支払いによる減少69百万円、自己株式の増加116百万円及び当第1四半期純利益134百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より78百万円減少し2,309百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は221百万円となりました。

これは税金等調整前第1四半期純利益が222百万円となり、また売上債権の減少149百万円、仕入債務の減少31百万円、法人税等の支払額270百万円があったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は97百万円となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出89百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は203百万円となりました。

これは、自己株式の取得による支出124百万円、配当金の支払64百万円があったこと等によるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期における業績は概ね計画通りに進捗しており、前回公表(平成21年5月7日)の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に修正はありませんが、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
四半期連結財務諸表の作成基準をベースとしつつ、投資家等利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、一部簡便的な手続きを採用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を当第1四半期連結会計期間より適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更による損益に与える影響額はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,909,955	2,988,742
受取手形及び売掛金	1,615,081	1,764,540
商品及び製品	87,170	79,876
未成工事支出金	39,237	56,421
原材料及び貯蔵品	35,938	32,843
繰延税金資産	59,352	59,481
その他	37,729	17,412
貸倒引当金	△13,519	△23,008
流動資産合計	4,770,945	4,976,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	550,699	560,632
土地	1,851,903	1,851,903
その他	622,187	615,563
有形固定資産合計	3,024,790	3,028,098
無形固定資産	43,522	47,289
投資その他の資産		
投資有価証券	401,014	312,799
長期預金	500,000	500,000
その他	437,039	452,145
貸倒引当金	△58,377	△58,690
投資その他の資産合計	1,279,676	1,206,255
固定資産合計	4,347,989	4,281,643
資産合計	9,118,934	9,257,953
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,233,912	1,264,946
未払法人税等	97,851	282,010
賞与引当金	144,510	96,000
その他	480,739	492,818
流動負債合計	1,957,013	2,135,775
固定負債		
退職給付引当金	2,197	—
役員退職慰労引当金	393,797	355,097
長期預り保証金	48,671	57,025
その他	185,990	179,766
固定負債合計	630,657	591,890
負債合計	2,587,670	2,727,665

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	5,665,014	5,600,697
自己株式	△304,401	△188,243
株主資本合計	6,310,501	6,362,342
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	72,102	23,167
評価・換算差額等合計	72,102	23,167
少数株主持分	148,659	144,778
純資産合計	6,531,263	6,530,288
負債純資産合計	9,118,934	9,257,953

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	1,885,880	1,913,471
売上原価	821,010	852,335
売上総利益	1,064,870	1,061,136
販売費及び一般管理費		
役員報酬	53,340	59,250
給料及び手当	294,005	313,397
賞与引当金繰入額	40,680	40,850
役員退職慰労引当金繰入額	7,950	38,700
その他	375,551	403,786
販売費及び一般管理費合計	771,527	855,983
営業利益	293,342	205,152
営業外収益		
受取利息	1,447	2,515
受取配当金	2,965	2,725
その他	1,506	3,629
営業外収益合計	5,919	8,870
営業外費用		
支払利息	232	1,527
営業外費用合計	232	1,527
経常利益	299,029	212,495
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,600	9,801
特別利益合計	2,600	9,801
特別損失		
固定資産除却損	1,070	—
特別損失合計	1,070	—
税金等調整前四半期純利益	300,559	222,297
法人税、住民税及び事業税	115,071	—
法人税等調整額	173	—
法人税等合計	115,245	—
法人税等	—	86,377
少数株主利益	1,524	1,605
四半期純利益	183,790	134,313

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	300,559	222,297
減価償却費	44,044	77,712
のれん償却額	3,981	3,250
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,210	1,152
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,950	38,700
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△31,703	△9,801
賞与引当金の増減額(△は減少)	46,540	48,510
受取利息及び受取配当金	△4,413	△5,240
支払利息	232	1,527
有形固定資産除却損	1,070	—
売上債権の増減額(△は増加)	231,791	149,458
たな卸資産の増減額(△は増加)	△86,564	6,795
仕入債務の増減額(△は減少)	△98,528	△31,034
その他	13,307	△13,494
小計	422,057	489,834
利息及び配当金の受取額	3,892	4,028
利息の支払額	△232	△1,527
法人税等の支払額	△230,539	△270,531
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,178	221,804
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△400,000
定期預金の払戻による収入	—	400,000
投資有価証券の取得による支出	△3,853	△3,761
有形固定資産の取得による支出	△31,280	△89,995
長期貸付金の回収による収入	2,316	2,572
その他の支出	△4,588	△6,499
その他の収入	436	470
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,968	△97,213
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△3,812	△22,049
自己株式の売却による収入	—	7,665
自己株式の取得による支出	△16,973	△124,140
配当金の支払額	△64,696	△64,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	△85,482	△203,378
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	72,726	△78,787
現金及び現金同等物の期首残高	2,808,343	2,388,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,881,070	2,309,955



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	医療用ガス 関連事業 (千円)	有料老人ホーム 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,836,381	49,499	1,885,880	—	1,885,880
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	327	—	327	△327	—
計	1,836,708	49,499	1,886,207	△327	1,885,880
営業利益又は営業損失(△)	300,154	△7,020	293,134	208	293,342

1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品・商品の種類を基準として、「医療用ガス関連事業」及び「有料老人ホーム事業」の2つに区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品の名称

事業区分	売上区分	主要製品・商品
医療用ガス 関連事業	ガス関連	医療用酸素ガス、麻酔用ガス、分析用標準ガス、滅菌用ガス、その他医療用ガス全般、各種調整器及び流量計各種吸引器、その他医療用機器全般、容器運搬車
	在宅関連	在宅酸素療法用酸素濃縮器、在宅酸素療法用液化酸素、在宅人工呼吸器、在宅酸素療法機器
	工事関連	医療ガス配管工事企画・設計・施工、特殊ガス配管工事企画・設計・施工、医療ガス配管設備保守点検
	介護福祉関連	電動三輪スクーター、電動四輪スクーター、歩行補助車・歩行器、車椅子・ストレッチャー、伸縮杖・折りたたみ杖・固定杖、四点杖・ロフトストランド・クラッチ・松葉杖、入浴用品・排泄用品、介護・福祉機器全般、その他介護用品の販売及びレンタル事業 生体モデル、聴診器、血圧計、ナース用品、その他看護学校向け商品
有料老人ホーム関連事業	有料老人ホームの経営、その他付帯する業務	

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

	医療用ガス 関連事業 (千円)	有料老人ホーム 関連事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
I 売上高及び営業損益					
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	1,849,640	63,831	1,913,471	—	1,913,471
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	281	—	281	△281	—
計	1,849,921	63,831	1,913,752	△281	1,913,471
営業利益	200,842	4,168	205,010	141	205,152

1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は、製品・商品の種類を基準として、「医療用ガス関連事業」及び「有料老人ホーム事業」の2つに区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・商品の名称

事業区分	売上区分	主要製品・商品
医療用ガス 関連事業	ガス関連	医療用酸素ガス、麻酔用ガス、分析用標準ガス、滅菌用ガス、その他医療用ガス全般、各種調整器及び流量計各種吸引器、その他医療用機器全般、容器運搬車
	在宅関連	在宅酸素療法用酸素濃縮器、在宅酸素療法用液化酸素、在宅人工呼吸器、在宅酸素療法機器
	工事関連	医療ガス配管工事企画・設計・施工、特殊ガス配管工事企画・設計・施工、医療ガス配管設備保守点検
	介護福祉関連	電動三輪スクーター、電動四輪スクーター、歩行補助車・歩行器、車椅子・ストレッチャー、伸縮杖・折りたたみ杖・固定杖、四点杖・ロフトストランド・クラッチ・松葉杖、入浴用品・排泄用品、介護・福祉機器全般、その他介護用品の販売及びレンタル事業 生体モデル、聴診器、血圧計、ナース用品、その他看護学校向け商品
有料老人ホーム関連事業	有料老人ホームの経営、その他付帯する業務	

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。